キャラクター名: 浪川 莉愛(ﾅﾐｶﾜ ﾘｱ)

プレイヤー名:

シンドローム	ハヌマーン エグザイル	ワークス	UGNチルドレンC	カヴァー	UGNチルドレン
オプショナル		年齢	15	性別	女
覚醒	感染	衝動	自傷	初期侵食率	33 %
出自	天涯孤独	経験	脱走	邂逅	制裁

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	3	0	0			3
感覚	2	0	0			2
精神	1	1	2			4
社会	2	0	0			2

HP	30
行動値	8
(非装備時)	8
戦闘移動	13
全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ	4	5	交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達		
運転：四輪	2		芸術：偽装	2		知識：ﾚﾈｹﾞｲﾄﾞ	2		情報：UGN	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
切り裂く刃		4r+9		15		装甲値無視 リアクションのC値+1
⑤→①		0				コスト8 シーン2回
螺旋風		4r+9		18		装甲値無視 リアクションのC値+1
⑤→①		0				コスト8 シーン3回

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
携帯電話	
フォーマル	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
Dロイス:精鋭	P	N		
UGNという組織	P 誠意	N 嫌気		
白崎 美海	P 憧憬	N 恐怖		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:	4	残り財産P：	4

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
サイレンの魔女	5	5	メジャー	視界	シーン(選択)	RC	-	
効果：	攻撃力+[Lv×3]の射撃攻撃 装甲値無視							
子羊の歌	2	4	オート	視界	単体	自動	100↑ Lv/Sn	
効果：	ダメージを肩代わり 軽減不可							
異世界の因子	1	5	オート	視界	エフェクト	自動	80↑ 1/Sn	
効果：	エフェクト1つをLv1で習得							
崩れずの群れ	1	2	オート	至近	自身	自動	1/MP	
効果：	カバーリングを行う							
螺旋撃	2	3	マイナー	至近	自身	自動	80↑ Lv/Se	
効果：	メジャーアクションへのC値+1							
擬態の仮面	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果：	自らの姿を変化させる							
軽功	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果：	凄まじく身軽になる							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

「…ごめんなさい……これも、私への制裁だから……」

莉愛がオーヴァードに覚醒したのは、生まれてからほんの半月のこと。
アールラボに所属する彼女の父・浪川幸長は、まだ赤ん坊である莉愛を検査にかけ結果高いレネゲイドへの適正を見出した。
UGNの将来を担う、優秀なチルドレンの一人とする為幸長は自分の娘に一滴の薬を注入する。
この時から、莉愛の日常は奪われてしまっていた。

UGNのチルドレン養成施設に入れられた莉愛は、（年齢に相応していくとはいえ）厳しい訓練を受け続けた。
当然外の世界とは隔離されたまま。いかにしてジャームを殺すか、レネゲイドをコントロールするか、仲間のオーヴァードと連携するかなど、UGNに貢献する為の知識と技量だけを与えられていく。
苛烈を極める訓練の中、彼女の心の拠所となってくれるものは何もなかった。
家族とは隔離され、友人関係もほとんどが事務的なものに過ぎず、ようやく仲良くなれたと思った相手は訓練に耐えきれなくなって……

それが当然、と思うことが出来れば幾分か楽だったかもしれない。
事実、彼女と同じ養成施設にはUGNに狂気じみた忠誠心を持ち、UGNが与えてくれるこの環境をとても喜ばしく思っていた少女もいた。
しかし莉愛は違う。
ほんの好奇心から、知ってしまったのだ。
自由と快楽に満ちた、日常の世界を。
彼女ほどの年齢の子は、誰かに無条件に愛され守られながら生きていることを。

その頃から、訓練に身が入らなくなった。
いつもどこかで、こんなことをしている自分がおかしいのではないかと。